

## 質問

小規模校における複数の校務分掌を一人で担っている現状に対する、方途が何かあれば知りたいと思いました。(東濃地区 小学校)

他校の要請訪問への参加率は、どのくらいなのでしょう。(美濃地区 小学校)

「先生のマイサポーター制度」について、現任校の市でも、10年近く前から児童生徒対象のマイサポーター制度が実施されています。私も、以前から、特に若手教員が相談できる教職員対象のマイサポーター制度が実現できないかと思っていました。ただ、児童生徒対象の舞サポーター制度において、特定の先生にサポーター希望が偏るといった課題もあります。これと同じような、あるいは、異なる課題が、教職員対象の最サポーター制度の導入によって起きることはないか、郡上市が実践してみても報告を聞かせていただけたらと思います。(美濃地区 中学校)

学校運営協議会で、子どもの思いや願いを伝えるというのはどういった内容でしたでしょうか？自分にはない発想だったので知りたいです。またその効果を聞きたいです。(東濃地区 小学校)

客観的に状況を把握・共有できるデータをもとに研究を進めていくことは重要かと思います。お話の中にありました SWOT 分析というのはどのようなものか、知りたいと思いました。(岐阜地区 中学校)

小規模校で、若手教員が要請訪問に参加する際、校内の補欠等体制はどの様にしてみえるのか。(美濃地区 小学校)

本校は本市においても、小・中が同じ建物にある特殊な環境にあります。全ての職員に小中の兼務がかかっているため、小規模校ではありますが、比較的にも人数も年齢層もバランスがとれております。しかしながら、若手の育成や地域との連携について推し進めていかねばと考えております。(東濃地区 中学校)

先生のマイサポーター制度の活用状況が分かりましたら、教えていただきたいです。(西濃地区 中学校)

「つながり」をつくるための実践を教頭会で共有され、効果があったことを周知されたと思いますが、今後も継続して取組をされるのですか。また自校の取組にどのように生かして行かれるのですか。(西濃地区 中学校)

小規模校では、他校に若手を学ばせに行かせたいと思いますが、その際の学級への補充体制は、どのようにされているのでしょうか。マイサポーター制度については、小規模校では、中堅教員は、受け持つ校務分掌も多く、サポーターに指名された教員は、負担に感じないでしょうか。(東濃地区 小学校)

ありがとうございました。質問は、ありません。(東濃地区 中学校)

若手育成を本校も力を入れたいと考えてきました。若手のスキルアップや相談する場を設定するために時間の生み出しが必要となりますが、そのために工夫されていることについて教えてください。(岐阜地区 小学校)

市内の学校をつなぐための下準備にかかる年間の日数や時間は(飛騨地区 中学校)

## 意見・感想

学校が職員を育てるという考えのもと、校内の組織や研修体制の構築について参考になりました。(岐阜地区 中学校)

地域との連携だけでなく、学校と学校をつなぎ、日頃から互いに学び合う体制を構築されていてよいと感じました。(西濃地区 中学校)

授業が本業の我々にとって、児童生徒に力をつけることができている授業であるか否かはとても大きな問題であると思います。特に若手教員は、自ら経験を積むことと先輩方からノウハウを学ぶことが必要だと考えます。そう行った今必要なことに対して、教頭がコーディネートし、実践され成果を上げている点が素晴らしいと思います。(岐阜地区 中学校)

<p>本校にも当てはまりますが、同一教科の職員が一人しかいない規模の学校にとっては教科の悩みを解決しづらい。しかし、他校と連携しながら研修することで授業力を向上させられることは本校でも取り入れていけるとよいと感じました。(西濃地区 中学校)</p>
<p>他地区、それも小規模校ならではの工夫を知ることができて良かった。(岐阜地区 中学校)</p>
<p>本校は小規模校であり、当市も郡上市と同様の課題を抱えている。本校でみると、学校運営協議会との連携は行っているが、小学校との連携という面ではまだまだ課題であると感じた。リモートで繋いで交流を行っているが、動画にして交流することは実践しておらず、時間的な制約を解決する一つ的手段として活用していきたい。また、地域資源の活用は進めてはいるものの、郡上市のように「地域に貢献したい」という思いを強くもつまでには至っておらず、ふるさと教育についても追求していきたい。(東濃地区 中学校)</p>
<p>本校の職員層は、資質貢献期のベテラン職員と基礎形成期の若手職員で構成されており、ミドルリーダーは2人の状況であります。その中で、ミドルリーダーの育成は急務であり、本校においても試行錯誤の段階です。今回の提案にあったように、若手が実践する機会をつくるだけでなく、「観て学ぶ」経験はとても大切であり、今後のスキルアップにも必要なことだと感じました。また、その後の「授業にどう生かすか」といったフォローや「マイサポーター」があることで、さらにOJTの一環にもなっていると考えます。今回の提案にあった「つなぐ」は、組織・運営に欠かせないものであるため、本校においても実践を図ってまいります。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>「つながり」の種類を整理して研究を進めてみえ、大変分かりやすかったです。”学校と学校”、”ミドル・ベテランと若手”など、様々な「つながり」を整理して組織したり、運営したりすることが大切だと思いました。(西濃地区 中学校)</p>
<p>「つなぐ」を合言葉にして組織・運営の充実を図っている郡上市の教頭会の実践が素晴らしいと感じました。学校運営をする上で、地域・保護者・職員・児童生徒そして職員との双方向による取り組みはとても大切だと思います。郡上市の教頭会では、要請訪問・自主公開授業をどの職員も参加できる体制にしていたことがとてもよかったと思います。学ぶ場がたくさんあることは、職員のスキルアップにとっても重要であると感じます。授業だけでなく、サポーター体制、そして校区ごとのコミュニティースクールなど、色々なつながりが地域にあることで、全ての人と同じベクトルで学校に関わることができる画期的なシステムだと思います。郡上市の教頭会の実践を参考に、本校に行かせる内容については実践していきたいと感じました。実践発表、大変お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。(可茂地区 小学校)</p>
<p>単学級や少人数学級などの学校の小規模化に対して、授業力向上などの教育の質的な低下を防ぐという点に共感しました。職員の多忙化と併せて考えた時に、教頭の役割の大きさを改めて実感しました。(東濃地区 小学校)</p>
<p>教頭の業務の大きな役割である「つながり」を作ることの大切さを学ぶことができました。毎日の業務の中で目の前のことに精一杯になりがちですが、自校だけでなく、地域まで視点を広げていきたいと感じました。(可茂地区 中学校)</p>
<p>学校規模に応じて、職員研修の場をしっかりと確保していくことの大切さを感じた。それと同時に、職員のメンタルヘルスの管理も含め、教頭が学校運営をどうコーディネートしていくのが大切だと再確認できました。(美濃地区 小学校)</p>
<p>「つなぐ」という共通のテーマをもち、会の教頭先生方が研究を進めていらっしゃる事がまずもって素晴らしいと感じました。本校も単学級で職員の授業力向上のための研修の場について困っているのですが、郡全体で授業力の向上のために「つなぐ」ことをなさっていること、大変参考になりました。(西濃地区 小学校)</p>
<p>チーム郡上の考え方は、加茂郡でも参考にしていきたいと思いました。(可茂地区 中学校)</p>
<p>校内での指導だけではなく、地区で授業の自主公開を行い、若手やミドルリーダーの育成を行ってみえること、大変勉強になりました。(岐阜地区 小学校)</p>

<p>子どもの願いを大切にした総合的な学習の時間の連携が参考になりました。(可茂地区 小学校)</p>
<p>以前勤務させていただいた郡上は、私の大好きな地域です。何より、教頭先生方同士が仲良く、地域素材も盛りだくさんあるところが、私にとって大変魅力的です。今回のご実戦は、その魅力が全面にみられ、本当に素敵だなと感じました。人ごととせず、どんなことでも、どんな人にも積極的に関わったり、どんな状況でも、前向きに取り組んだりする。市内に存在する数多いすばらしい地域人材を、有効活用する仕組みを積極的に作る。これは、郡上でしかできないことだといつも感じています。そんな魅力を感じる地域で育つ子どもたちは、幸せだなと思います。いつかまた、郡上で勤務できることを願っています。ありがとうございました。(美濃地区 中学校)</p>
<p>若手教員にとって校務分掌の荷重負担や困り感を相談しにくい現状は本校でも課題となっている。職員をお互いにつなぐために、教頭が意図的に協働的な学びの場などを率先して設定していく必要があると感じた。また、地域や校区においても同様に重要な役割であることを改めて実感した。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>「つなぐ」というキーワードで、様々なコーディネートに取り組むことができるのが参考になりました。(岐阜地区 中学校)</p>
<p>学校と学校をつなぐための具体的な実践や、先生のマイサポーター制度として、先生と先生をつなぐための具体的な実践が紹介されており、大変分かりやすかったです。ありがとうございました。(岐阜地区 中学校)</p>
<p>本校も小規模校で、職員同士の学び合いができていく状態であるので、授業力向上のために若手とミドルリーダーをつないだり、研修のモチ方を考えたりしていきたいと思いました。地域に生きる1人として何ができるのかを考えることができる児童の育成のために、地域資源を活用した学びを充実させていきたいと思いました。そのために地域とつなぐ役目を担いたいと感じました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>「他校の要請訪問への参加」について、特に、若手教員が小中学校の校種を超えた学びをする場、研修をする場として有効であると思います。私も自校の若手教員や校区の若手教員に、他校の授業研究会に参加して勉強してくるように働きかけています。これを全市的に実施しているところが郡上市の取り組みとして優れていると思いました。</p> <p>「地域連携の推進」について、現任校の校区では、小中学校ごとに学校運営協議会が組織されています。今後、小中一貫の総合学習カリキュラムを進めたいと考えていますが、その際、中学校区で一つの学校運営協議会であると、より統一性のある学校教育を進めることができると感じました。参考にさせていただきます。(美濃地区 中学校)</p>
<p>「つなぐ」を合言葉にしてマネジメントしていく方法は、大変わかりやすく良いと思った。また、提言内容にあった4つの「つなぐ」ことは、どこの学校でも大変重要であり、そのマネジメントが教頭の重要な仕事である事を再認識することができた。また、「先生のマイサポーター制度」は大変面白くて有効な取り組みで有ると感じた。書き込む用紙の内容が、大変参考になった。機会があれば活用したいと思いました。大変素晴らしい提言をありがとうございました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>教頭として、率先してICTを活用することの重要性を考えさせられ、実践が大変参考になりました。ありがとうございました。(可茂地区 小学校)</p>
<p>授業力を高めるために、他校の要請訪問への参加はとても良いと感じました。単学級の小規模校では、同学年の他の先生の授業を見る機会はありません。他校の要請訪問や自主公開授業への参加は若手教員にとって刺激になると感じました。中学校区での学校運営協議会という考えもよいと感じました。(美濃地区 小学校)</p>
<p>まず、少子化により学校環境や資源に対して、人的・時間的・地理的制約を受けるようになってきていることは確かにそのとおりであると認識させられました。若手教員を中心として、校内での相談体制に弱さがあることは本校でも抱えている課題です。このような状況であるからこそ、校内はもちろんのこと、学校どうしをつないだメンタリングは非常に良いアイデアであると思いました。そのコーディネーターとして教頭が先頭を切ることは大切で、私も本町において来年度試してみたいと考えました。(西濃地区 中学校)</p>
<p>年々若手が増加する中で、ベテランや他校等との「つながり」をいかに作っていくのかということについて学ばせていただきました。学習者のニーズをつかみながら、連絡調整役としての教頭の役割を果たし、学校の力を引き出していくことができるようにしていきたいと思いました。(西濃地区 小学校)</p>

<p>若手育成について本校でも、研修主事を中心に研修したい内容を職員にアンケートをとって校内研修を行っています。なかなか会議等を放課後に入れていくことは難しいですが、積極的に参加していただいています。自分の資質向上を望みながらも機会を設けにくい中で、マイサポーター制度は大変興味深く、互いにとって素敵な制度だと感じます。どちらの立場からも学びの姿勢や意欲につながり、全体にとっての資質向上につながるものと感じます。ぜひ取り入れたいと思いました、ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>どの実践も教頭のマネジメントなしでは成り立たないものでした。具体的な実践で、取り入れてみようと思いました。(西濃地区 小学校)</p>
<p>本校も、6年生以外単学級で、行事を実施する際や、日々の教育活動、また人材育成等多くの面で課題を感じています。今回、郡上市が「チーム郡上」を目指し、他校の要請訪問へ参加の機会を設けたり、教員のマイサポーター制度を行ったりしていることは、大変参考になりました。郡上市のように、教頭会が発信し動きをつくらせたいと思いました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>「チーム郡上」の広い視野による広域でのマネジメントの実践が魅力的だと感じました。また、「先生のマイサポーター制度」での教員同士をつなぐ取組も素敵だと感じました。ありがとうございました。(西濃地区 小学校)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SWOTによって、客観的に強みと課題を明確にしているところが勉強になりました。</li> <li>・「郡上学」は、自市(飛騨市)のふるさと教育にも通ずるところがあるので、機会があれば具体的な内容を知りたいと思いました。(飛騨地区 小学校)</li> </ul>
<p>学校運営協議会を軸にして、小中学校が「スマイル活動」としてなど一貫した教育活動につなげておられて、学校運営に地域、保護者が参画している姿が明確になっていた点はたいへん参考になりました。学校評価だけで終わってしまっている自校の運営協議会の改善を図りたいと感じました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>SWOT分析をして、自校の強み、弱みをつかむことから研修を進めて行くこと、とてもよいと感じました。若手教員が授業を参観する機会を設ける取組は、恵那市においても小規模で1校に同じ教科の先生がいないなど、同様であるため参考になりました。(東濃地区 小学校)</p>
<p>若手教諭の育成につながるミドルリーダーの向上は急務と感じている。(岐阜地区 中学校)</p>
<p>学校間や地域とのつながりを作り、教頭として他校の教頭と繋がりをしながらコーディネートしていくことの有効性がよく分かりました。大変勉強になりました。ありがとうございました。(西濃地区 中学校)</p>
<p>若手職員の育成においても、地域との連携においても教頭としてつないでいくのが大きな課題であると考えていたので、具体的な実践がとても参考になった。(美濃地区 小学校)</p>
<p>マイサポーター制度はとても素敵な取り組みだと感じました。地域連携の取り組みも郡上ならではの寄り添った姿勢を感じました。(可茂地区 中学校)</p>
<p>広い地域の中でも、研修の機会を作り出し、互いに学び合える土台を教頭会が作り出しているところが素晴らしいと思いました。(飛騨地区 中学校)</p>
<p>若手教員やミドルリーダーの育成は、どの地域どの学校でも喫緊の課題だと思います。具体的な実践で大変勉強になりました。(東濃地区 中学校)</p>
<p>小規模校ならではの悩みや複雑さを理解できた。SWOT分析を通して、各校の特徴を晶kジャにして支援体制を整えることはどの学校にも当てはまるため参考になった。(美濃地区 小学校)</p>
<p>若手の教員が多く、小規模校が多いという状況の中では、自校だけで研修などを進めていくのは難しいため、他校との連携が必要だと感じた。若手を育てるために、地域で連携して進めるために教頭の役割は大きいと思った。(東濃地区 小学校)</p>
<p>本校も小規模校ですので、職員の学びの場が少ないのが現状です。今回の発表の中で、特に授業力向上についての実践が大変参考になりました。他校の要請訪問への参加やマイサポーター制度等、若手教員の育成やミ</p>

<p>ドル・ベテランの意欲や資質の向上を目指した活動をしていくことの必要性を強く感じました。本市の教頭会でも検討し、実践に繋げていきたいと思えます。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>学校運営協議会と一部の教員とのつながりはありますが、子どもとつなぐということが参考になりました。小学校が中学校の姿を動画で見ることで参考にするなど、小中の連携もされており、きっと子どもたちがつながりを感じて意識の変容をしたのだと思えます。ぜひそんな視点で、小中学校をつなぎ校区としての取り組みを強化したいです。(東濃地区 小学校)</p>
<p>若手育成、ミドルリーダー育成のための実践の中で、特に先生のマイサポーター制度が興味深く、ぜひ取り入れてみたいと感じました。(東濃地区 小学校)</p>
<p>小規模校という組織の現状から教頭としてどのような働きかけができるかを考え、郡上市の先生方が連携し一体となって取り組んだことがよく分かった。横の連携がこのような成果を生んだことから、自分も大事にしたいと思った。(西濃地区 小学校)</p>
<p>若手教員やミドルリーダーの育成は、自校の課題でもある。授業力向上だけでなく、学級経営、生徒指導等、自校のみで学ぶのではなく近隣の学校と連携して学びの場を広げることは必要だと考える。過度な負担なくコーディネートしたり、研修の場を設けていけるように工夫し取り入れていきたい。(西濃地区 小学校)</p>
<p>若手教員はとても優秀であり、その能力を発揮できるよう教頭のコーディネートが必要だと感じた。(飛騨地区 小学校)</p>
<p>地域などとの繋がりをうまく活用した学校経営はこれからも大切にしていきたいと思えました。(美濃地区 中学校)</p>
<p>学校運営上、地域連携は重要なポイントであり、学校運営協議会を利用してここまで進んでいるのかと大変驚きました。特に、子どもが運営協議会に学校教育活動への思いや参加への依頼をしている様子は、大変勉強になりました。一方で、協議会からの依頼にどこまで応えていけているのかという部分も教えていただきたいと感じました。ありがとうございました。(西濃地区 小学校)</p>
<p>学校運営協議会を活かした地域連携の具体的取組(スマイル活動)など、大変参考になりました。また、若手の教職員のための公開授業への参加やマイサポーター制度など、人材不足が常態化している中、今いる人材を大切に育てる取組も魅力的であると感じました。(岐阜地区 中学校)</p>
<p>1つの学校にとらわれず、広い視野をもってつながりを作るコーディネート力の大切さを実感しました(岐阜地区 小学校)</p>
<p>本校も小規模校であり、郡上市と同じく、教職員の人数が少なく、経験の少ない職員も教科や複数の公務分掌を一人で担当しているといった現状がある。そのような現状の中、「つなぐ」を合言葉とした連携の具体は、大変参考になった。(可茂地区 小学校)</p>
<p>学校運営協議会との連携についてとても参考になりました。役割分担等について参考にさせていただきたいと思えました。(東濃地区 中学校)</p>
<p>「つなぐ」ことの大切さや単学級での教育、不安や悩みは多くあるなかで ICT 活用をし、授業参加で進んでいると思えました。時間割を調整して整えていくと放課後の時間が上手く利用できるのかなと思います。力を合わせて取り組んでいるところ素敵でした。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>「働き方改革」の名のもとに、さまざまな行事や取り組みが「精選」されていくなか、工夫して実践されていることに感銘を受けました。特に『マイサポーター制度』によって、職員間の困り間や指導力向上に向けて、若手職員⇄ミドル・ベテラン⇄スペシャリストを学校という枠を越えて繋げていくことが素晴らしいと思えます。また、学校運営協議会についても、中学校区で合同で行うことで人材の確保や会議のスリム化につながると考えました。また、『郡上学』と「キャリア教育」とを横断的に実施し、子どもたちの学びにつなげていくこともよいアイデアであると思えました。(東濃地区 中学校)</p>
<p>本校も中学校区で学校運営協議会が歩み始めたばかりですので、いろいろと参考になりました。(美濃地区 小学校)</p>

<p>・小規模校が多いことから、教頭の役割として、「学校と学校」「職員と職員」をつなぐという取組は大事だと感じた。特に「先生のマイサポーター制度」は素晴らしい。悩みを抱えても相談できない職員は多いと思うので、そこを自然につないでいただけるのは、ありがたいと思う。(飛騨地区 小学校)</p>
<p>先生のマイサポーター制度等、具体的な取り組みを知り、参考にしたいと思いました。若手育成に加え、ベテランを生かすマネジメントについて、考えていきたいと思いました。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>教頭の立場として、「つなぐ」ことが重要な役割であることが分かりました。(美濃地区 小学校)</p>
<p>若手の先生の学ぶ場や、相談相手の保証があることによって、安心して子ども達や保護者に対応することができているという実感があると、若手の先生の語りから伝わってきました。「チーム学校」とはよく言いますが、「チーム郡上」であることが素晴らしいと思いました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>教頭は、つながりを作る役割だと日々感じている。 地域や外部だけでなく、他校の教員同士を繋ぐという発想が勉強になった。(西濃地区 小学校)</p>
<p>SWOT 分析について学びました。まず自分の学校を見つめなおし課題を洗い出してそのために何をしていかなければならないか。その中で縦や横の連携が大切なことを学びました。(美濃地区 小学校)</p>
<p>地域の状況を活かした取り組みが素晴らしいと思いました。(岐阜地区 中学校)</p>
<p>チームで動くことのメリットがよくわかりました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>マイサポーターという発想がとても素晴らしいと思いました。個別に相談ができるという安心感は、小規模校にとってとても有益だと感じました。(西濃地区 小学校)</p>
<p>若手教員へのサポートとして、校内研究会(要請訪問)への若手教員の派遣、教員のマイサポーターなどの取組をされていて、効果的だと思いました。教員の学びの場をどのように保証していくかは課題なので、無理なく進めていける方法だと思いました。(西濃地区 小学校)</p>
<p>自校も小規模校のため、校務分掌が多くあったり、授業の進め方を学ぶ機会が少なく感じていました。郡上市教頭会の発表から、教頭同士の連携によって、他校とつながるといえることができると感じました。自分の校務分掌と同じ役割を担う他校の教師を結ぶことで、問題を解決したり、業務改善を行うことが可能になってくると思いました。ありがとうございました。(美濃地区 小学校)</p>
<p>若手教師のが学びたい時に学びたいことを学ぶという場の保障がなかなかできないことはどの学校も課題だと感じています。それを教頭会の横のつながりを活用し他校との連携を高めることで、それが実現できるという取り組みは大変参考になりました。(美濃地区 小学校)</p>
<p>本校の職員構成は、若手の職員が大変多く、小さな学校であることから、一人教科の職員もいたり、同じ教科の職員が2名いたとしてもどちらも経験が浅い職員という実態があります。なかなか自校で学び合うことができません。もちろん教頭として、授業参観をし、その後若手職員と話をしますが、やはり専門教科以外は、難しさを感じています。そこで、他校の全校研究会へ参加したり、ベテラン職員がいる学校と連携し、授業参加や授業を行う上での困りごとを相談できる機会を設けてきました。今後も先生方が自信をもって生徒の前に立つことができるよう、若い職員を支えていきたいと考えています。本日はありがとうございました。(東濃地区 中学校)</p>
<p>郡上市はここ数年で学校運営協議会を設立しているが、小規模校が多く中学校区での連携体制が課題であると感じた。ただ、イニシアティブを誰がとっていくのか、どんな領域で足並みをそろえていくのか難しいと感じた。郡上学とさえど、各学校によって取り組みが大きく違うため、学習の内容を調整していくことは、大きな工夫改善が重要であると感じた。(美濃地区 小学校)</p>
<p>自校でも取り入れてみたいです。(西濃地区 小学校)</p>
<p>地域の実態に合わせた研修の在り方が大変参考になりました。(可茂地区 中学校)</p>

<p>今後、郡上市に限らず、どの地域においても学校規模が縮小していく傾向にあると思われる。そうした状況の中で教師の授業力向上や地域連携を進めていかなければならないことを考えると、郡上市教頭会の取り組みは一つのモデルになりうると思った。(西濃地区 小学校)</p>
<p>地域との連携において教頭の果たす役割について参考になりました。(西濃地区 中学校)</p>
<p>小規模校の若手が学ぶ場として、他校や地域との連携はとても有効であると感じた。(美濃地区 小学校)</p>
<p>マイサポーター制度の実施が興味深かったです(西濃地区 小学校)</p>
<p>若手を育てる上で、学びの場をどのように設けるのか悩ましい。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>若手育成(岐阜地区 小学校)</p>
<p>山間部の広い地域、地域資源の豊富な地域であるからこそ、教頭としてチームを意識しつながりが強まるようなマネジメント力を発揮する大切さを学ばせていただきました。(西濃地区 小学校)</p>
<p>小規模校も多い地区での「つながり」を意識した市をあげての取組が大変参考になった。若手職員の育成や職員のマイサポーター制度など、学校をまたいで職員がつながり、指導力の向上ややりがいを感じる職場づくりをしていく取組は、本市でも校区ごとに同じような動きを取り入れることは可能だと感じた。自分自身は、カリキュラムマネジメントにおける地域連携を大きな課題と感じており、学校運営協議会の在り方等を模索しているところだったため、郡上市の取組から学んだことを来年度に向けて自校に取り入れようと思った。(美濃地区 中学校)</p>
<p>マイサポーター制度を位置付けていくことが、若手とベテラン相互の意識改革や成長につながっていることが素晴らしいと感じました。メンターを取り入れることは、今は当たり前となっていますが、うまく機能させるには、さらに工夫改善が必要だと思いました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>地域全体で若手職員を育てる仕組みと、教頭の役割が理解できました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>郡上学というのは、面白いなと思いました。本校も、お茶や陶芸などふるさと教育を進めています。地域の方に協力をしていただき、子供たちの体験がより充実するように、運営の仕方を振り返りました。自分の地域を子供たちがよく知り、地域の方とのつながりをより多くもつことで、地域に貢献したいという思いにつなげていくことは、本校でも行っていくことが大切であると感じました。コミュニティスクールの運営を上手に進めていながら、こうした地域との協働を大切にしていきたいと思いました。提案ありがとうございました。(可茂地区 小学校)</p>
<p>まず、学校と地域について、それぞれの地域が抱えている問題は同じであるということです。それぞれの郡市で交流しながら、進めていけるといいと感じました。(東濃地区 中学校)</p>
<p>授業力向上でも地域連携でも、肝となるのは、教頭として「つなぐ」役割を明確に持ち、各校の実態に応じた対応をしていくことと、異動などで人が入れ替わっても機能し続ける持続可能な仕組みを構築していくことが大切であるということを改めて感じました。そのためにも、PDCA サイクルを大切にアップデートをし続ける努力が大切であると思います。(美濃地区 小学校)</p>
<p>組織としてどのようにつながりをつくっていくのかを考える良い機会となった。(可茂地区 小学校)</p>
<p>1小1中の地域であるため、本校は中学校区で運営協議会を設置しているが、学校の活動については教師からの説明で終始している。子ども自身の口から協議会、地域の方に伝えることで、相互に協力する意識が高まると感じました。地域からも学校からも要望などが一方通行になりがちであるため、こうした機会を持てるよう考えていきたいと思いました。ありがとうございました。(美濃地区 小学校)</p>
<p>各先生方のつながり、地域とのつながり、子どもとのつながりなど良好なつながりがあってこそ皆が気持ちよく、効果的な教育ができると思います。様々な「良好なつながり」を築くためには、それぞれの場所で核となる教</p>

<p>員が必要です。すべてを教頭が担うことは不可能なので、教頭がそのコーディネーターとなり、いかに役割を組織できるかが重要だと思いました。(美濃地区 小学校)</p>
<p>学校運営協議会を巻き込んだ、小中の連携について、地域で子どもたちを育てる観点からも、大変重要であると感じました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>市全体を1つの研修組織と見なし、各分野のスペシャリストリストを作成して職員研修を実施していることは大変参考になった。ICT と組み合わせ、時間的・地理的制約を解消しながら取り組めるのもよいと感じた。(西濃地区 小学校)</p>
<p>加茂郡の学校も同じように小規模校が多く、単学級、教科担任1人の場合が多いです。そのため、若い先生は相談する相手や同学年、同教科の授業を見るのがなかなかできず、スキルアップをする機会が少ないのが現状です。一時期、他校への授業参観や合同学年会議などの取り組みもありましたが、担当者が代わってたち切れになるなど、うまくいかないこともありました。マネジメントできる環境(引継ぎや教育委員会との連携など)をしっかりと作っていくことが大事だと感じました。また、学校運営協議会の有効活用は大事だと思います。地域の方は本当に学校を大切にしてくださり、いろいろな面で積極的に協力してください。ここいかにつながるか、そこは教頭としてのマネジメント力だと思います。地域との風通しのよさ、かかわり、つながりはまずは教頭からだと思います。同じような状況の学校の実践は本当にためになります。ここでもつながりが大事だと改めて感じました。(可茂地区 小学校)</p>
<p>単学級、小規模校ならではの悩みにとても共感しました。若手育成、ミドルリーダーの育成は喫緊の課題であり、その場をコーディネートすることが求められているとあらためて感じました。校内で SWOT 分析を行い、自校の教育課程、教育環境の見直し、整備に生かす必要もあると考えることができました。(東濃地区 小学校)</p>
<p>PTAの組織を検討していきたいと思います。(東濃地区 中学校)</p>
<p>中学校区の学校運営協議会という点で共通するのですが、なかなか活動が思うように進まずにいました。この実践を参考にさせていただきたいと思いました。(飛騨地区 小学校)</p>
<p>若手教員の育成は大切です。人員不足を感じることも多い現状でベテラン教員の力を発揮してもらい、学校全体で育てていける体制づくりは自分にとっても課題です。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>学校規模が小さいために、教科に代表されるように、若手教員にとって様々な相談をしたくてもできない現状があることがわかり、学校間連携や地域との連携を密にしていく必要があることと感じた。(西濃地区 中学校)</p>
<p>ICT の活用は、絶対的に必要事項となるでしょう。そのための研修が重要になってくると思われます。(岐阜地区 中学校)</p>
<p>教頭として「つながり」を作るための実践をこれからも続けていきたい。(美濃地区 小学校)</p>
<p>市をあげてのサポート体制が確立されて良い(岐阜地区 中学校)</p>
<p>先生のマイサポーター制度は、互いのスキルアップのために、良い試みであると感じました。(岐阜地区 中学校)</p>
<p>自校でも「つながり作り」をテーマに地域との連携・協働を進めております。地域との連携を進めるためには、日中に動ける多くの地域の方々と対面できる機会が多い教頭の役割が大きいと感じております。もちろん、負担は増えますが、それを楽しんで行っていきたいと思っております。(美濃地区 小学校)</p>
<p>小規模校では、学び合う教職員の数もすくないため、地域で協働し研究会への乗り入れなど良い機会となりそうです。本校では、全校での研究授業自体を大幅削減しています。その分、学年部での小規模での研究会を行い、一枚指導案や簡易の研究会など負担軽減を図っています。ただ、授業を見る機会は学びにつながりますので、若手育成のためにも大切にしたいと思います。(岐阜地区 小学校)</p>

<p>ミドルリーダーの年齢層が低くなっている状況でどのように真のリーダーを作っていくのか学校規模が年々小さくなってなかで、チームのエリアを広げる必要性を感じた。教頭の横のつながりが必要だと思った(西濃地区 小学校)</p>
<p>若手職員を育てるシステムが大変新鮮で、サポート制度をつくることの効果を学びました。(可茂地区 小学校)</p>
<p>小規模校が多い中で、年度初めに市内の公開授業の詳細を公表するのは、いいアイデアだと思いました。若い教員が自主的に動けそうです。(美濃地区 中学校)</p>
<p>郡上市が掲げる教育観に対し、郡上市が抱える成果や課題を明確にして、教頭会が果たせる役割を具体的に、今まであるものをうまくコーディネートして展開されている点が大いに学びとなりました。ありがとうございました。(可茂地区 小学校)</p>
<p>教頭として「つながり」をつくることは、自分自身も大切にしていることです。学校と学校をつなぐこと、ベテランと若手をつなぐこと、校区をつなぐこと、地域とつなぐことなど、あらゆる面で「協働」を生み出されている実践は、とても学ぶことが多かったです。特に「先生のマイサポーター制度」については、ベテランにとっても若手にとっても、成長できるよい機会になる実践で、自分自身行ったことがなく、大変興味をもちました。今後も「つながり」をつくるために、自校だけに限らず、広い視野をもって取り組んでいきたいと思えます。(東濃地区 小学校)</p>
<p>まず郡上市の30名の教頭先生方が一丸となって取り組んでいることが意味のあることだと思います。教頭は学校内だけでなく、校区や地域とつなぐ役割があると感じました。いろいろな場面でコーディネートし、より効果的な教育活動を推進していかなければならないと思いました。郡上市の取組を参考にできることを実践していきたいと思えます。(西濃地区 中学校)</p>
<p>教頭の役割として、学校と地域や保護者、職員間を「つなぐ」ことが何より大切であると私も日々実感しながら職務にあたっている。中学校区をつないだ学校運営協議会の取り組みは大変参考になった。また、子供の願いや思いから始まる総合学習の大切さや、それを実現するための説明会など、丁寧な段取りが必要であり、それをコーディネートする教頭としてのあり方を学ばせていただいた。(東濃地区 小学校)</p>
<p>教頭が主導で、コーディネート役として活躍し、マイサポーター制度や要請訪問などの制度があることが大変参考になりました。郡上学の取り組みも大変参考になりました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>市内の全学校の研究会の日程を集約しつなげることは本町でも行えそうです。ありがとうございました。また、子どもたちが直接学校運営協議会の方々に伝える取組も大変よいと思いました。願いを直接伝え、実現してもらうことで、大人になった時、自分も子どもたちに何かを返そうと考えてくれる気がします。(西濃地区 中学校)</p>
<p>小規模校同士の連携によって、若手教員の困り感を解消する取り組みが素晴らしいです。また、郡上市が統一して「郡上学」という総合学習を行なっていることも、学校同士をつなぐ良い取り組みだと思いました。その「つなぐ」パイプ役として、教頭の役割は非常に重要だと感じました。(西濃地区 中学校)</p>
<p>小規模校ならではの困り感を聞き、どこも大変なのだ実感しました。その中で頑張っている教頭先生方に敬意を表します。(東濃地区 中学校)</p>
<p>若手教員に研修の場を紹介するだけで終わらず、実際の参加までをコーディネートし、事後にさらに学びを深める機会をもつことが必要だと考えた。(美濃地区 小学校)</p>
<p>学校組織の中で、地域との中で「つなぐ」をテーマに強みと課題を明確にされ、実態に応じた取組をされていて共感もてた。小規模校では、マンネリ化や相談体制など、視野も広がらないことがあるが、他校との交流やマイサポーター制度の実施など、若手教員はもちろん、ミドル・ベテラン教員にとってもつながりがもてる取組だと感じた。本校でも、「つながり」のある若手教員の育成に努めていきたい。ありがとうございました。(西濃地区 中学校)</p>
<p>若手教員の育成・同僚教員とのつながりを作ることは、本校においても重要であると感ずます。学校現場だけでなく、市教頭会等の組織で若手教員を育成することは大変参考になります。「先生のマイサポーター制度」など</p>

<p>は、校内だけでもできそうなことなので、皆で学びあう気風を作りながら実践に結び付けていきたい。(可茂地区 小学校)</p>
<p>小規模校だと中学校でも教科で学び合うことがなかなかない場合もあるので、他校の授業研究会などを紹介したりできるのは良いと感じた。(美濃地区 小学校)</p>
<p>地域との連携は、教頭にとって大切な役割ですが、負担感も大きいのではないかと思います。負担感の軽減には、今回発表にあったような取組がひとつ鍵になるのではと思います。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>市の規模を活かした機動力のある教頭としての働きかけが参考になった。他校の要請訪問へ参加し、研修できる機会を提供することで、学校や職員がつながりながら、市内全体の職員のスキルを上げていくことができる取組みが特に心に残った。岐阜市は規模が大きいので、まずは、中学校区内で取組めそうだと感じた。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>これからはどの地区においても若手の力を伸ばすことが大切です。その具現化が明確であり、参考になりました。小規模校であっても、若手が見習うべき先輩をうまく提供する方法を学びました。(可茂地区 中学校)</p>
<p>教師が学ぶことができる環境づくりのために、複数の学校が連携することは、結局は市全体で同じ方向に向かって教育を進めることにもなります。実態を生かした実践で素晴らしいと思いました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>市全体で「つなぐ」というキーワードを設定し、各校で実践している仕組みを作り出すことが素晴らしいと思いました。市内の異動があった時も、共通の目的で学校運営に参画できます。(飛騨地区 中学校)</p>
<p>若手職員の実態や困り感等を的確に把握し、地域を含めたマネジメントの必要性を感じました。ありがとうございました。(西濃地区 小学校)</p>
<p>前任の中学校でも、小中連携しての挨拶活動や会議が行われていたが、現任校では、全くなく、残念である。小規模校から大きな中学校へ行くだけに、小中連携した活動が一つでもあると、中1ギャップも小さくなるのではと感じました。 また、学校運営協議会に子どもたちが直接願いや意図を話す方法も、参考になりました。コロナ禍で4年ぶりに復活する行事も多いので、継続できる形での地域連携のあり方を探っていきたいです。(西濃地区 小学校)</p>
<p>先生のマイサポーター制度の取組、参考にしたいと思いました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>前半部分の若手教員の育成の取組は、とても参考になりました。(東濃地区 小学校)</p>
<p>本校も小規模校ですので、郡上市にも同じ悩みを持つ学校があることを知りました。若手の先生が、他校へ研修に行くことが出来る仕組みについて参考にしたいと思いました。(可茂地区 小学校)</p>
<p>教員、保護者、地域…「つながり」が多いほど、子どもたちの学びや活動を、豊かに広げ深めることができると感じます。学校運営協議会の取組等、参考にさせていただきます。ありがとうございました。(岐阜地区 中学校)</p>
<p>教員、保護者、地域…「つながり」が多いほど、子どもたちの学びや活動を、豊かに広げ深めることができると感じます。学校運営協議会の取組等、参考にさせていただきます。ありがとうございました。(岐阜地区 中学校)</p>
<p>スペシャリストに学ぶ機会があることで、教職員みんなの士気が高まり、よいと感じた。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>市内を挙げてのマイサポーター制度は、多くの郡市町村で共有されるとよいと感じました。(東濃地区 小学校)</p>
<p>勤務校にて、臨機応変に対応できる強みをたもちながらも、より一層組織的対応ができるよう、学んだことを参考に働きかけていきたい。(岐阜地区 小学校)</p>

「つながる」「つなぐ」をキーワードにいろいろ手立てを考え、実践して見えたので参考になった。(美濃地区 中学校)
チーム学校として、与えられた人材を適所に配置して、つながりをつくるマネジメントについて学ぶことができました。(岐阜地区 小学校)
つながりを、だけでなく地域とどのようにもつか、マネジメントの方法について学ぶことができました。「マイサポーター制度」や中学校区で一つの活動について協働して推進することが、とても興味深く今後取り入れてみたいと感じた。(西濃地区 小学校)
いろいろな面から、組織をマネージメントできることがわかりました。(西濃地区 小学校)
教員と教員、学校と学校、学校と地域など、「つなぐ」ことが教頭の役目だと改めて感じました。まずは中学校区の教頭がつながって、地域の子どもたちを育てていけるようにしたいです。(岐阜地区 小学校)
今後もつながりをつくる使命を果たすよう努めたいと思いました。(飛騨地区 中学校)
地域との在り方(東濃地区 中学校)
・教員の「マイサポーター制度」は、世代を問わず有意義な取組だと思いました。 ・CSを中心として、地域資源の活用と持続可能な体制作りを一層進めていきたいと思いを新たにしました。(東濃地区 中学校)
現在勤務している郡上市の実践なので、共通理解して進めているが、自校でも引き続き実践を進めていきたい。(美濃地区 小学校)
多様な価値観が混在する社会となっている今、地域の人たち、保護者、職員の願いは必ずしも一致しない。今こそ、話し合いの機会を設けながら、意見をすりあわせるという機会を大切にしなければならないと思っている。自己の価値観をきちんと持ちながら、人として人とのつながりを大切にしたい体験学習を、教育活動に取り入れたいと思った。(東濃地区 中学校)
単独校でできることは限られている。近隣校、外部機関、行政との関わりが必要であることを痛感した。「つなぐ」役割が少しでもできるように努力したい。(岐阜地区 小学校)
他校の要請訪問への参加というのは、自校だけでは研修が十分にできない場合の方法として大変良い方法だと思った。(岐阜地区 小学校)
先生マイサポーター制度は、まさに狙いどおり、ミドル、ベテランには自信になり、ステップアップにつながる。また、若手には、自分が学びたいことを学べる両者が向上する素敵な取組である。また、コミスクの活用や郡上学など小中学校、地域との連携をし、つながりをつくりながら、児童生徒、教員を育てていく素晴らしい実践である。(岐阜地区 小学校)
組織力を高めるには若手の育成だけではなく、キーマンとなるミドルリーダーの働きが大切だと思う。キーマンと教頭がどのようにかかわるのが鍵になってくる。(岐阜地区 中学校)
小規模校の悩みを解消する研修体制の工夫は参考になりました。(飛騨地区 中学校)
自校でも若手教員が多く、授業力や生徒指導力、学級経営力などの向上が課題となっている。しかし、ミドルリーダーやベテランもそれぞれの校務分掌を抱えている中で、なかなか十分に若手のサポートができていない。マイサポーター制度の実践などは、若手の積極的な意識づくりとともに、サポートをするミドル、ベテランにとっても、誰が誰に何をサポートすればよいかも明確になり、よりつながりを作りやすいと感じた。(可茂地区 中学校)
研究内容(1)授業力向上の取組が興味深かった。郡上市全学校で同じ日程を仕組み、個々に学びたい学校・教員の実践を参観できるのが良い。(飛騨地区 中学校)

<p>現任校は、教職員の人数、年代のバランスともに、恵まれています。しかし、教科によっては同教科部員がいません。また、小規模校では、校内でのつながりだけでは、特に授業力向上のためのサポートが十分ではありません。「他校への要請訪問」は取り入れていきたいです。(岐阜地区 中学校)</p>
<p>子ども、学校、地域のニーズに合わせて、それぞれをつなげる役割を教頭がしていけば、より効率的に、かつ効果的にできることが大変勉強になった。(可茂地区 小学校)</p>
<p>他校の要請訪問への参加は、参考になった。(飛騨地区 小学校)</p>
<p>教頭がコーディネーターとなり、学校と学校、地域と地域を「つなげる」ことを実践してみえるので、自校の地区だけで考えるのではなく、中津川市として枠組みで考える必要性を感じました。(東濃地区 中学校)</p>
<p>市全体で取り組まれていることが、とても良いと思いました。上手につながりを作り、活用することで、教員数や学校数が少ないことのマイナス面をプラスに変えられていると感じました。先生のマイサポーター制度等、人材育成が効果的に行われていると思います。参考にさせていただき、本校での若手教員育成に生かしていきたいです。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>若手育成は本校においても喫緊の課題である。市内の各学校との連携を図ることで、郡上地区全体の教員の授業力向上を目指しており、素晴らしいと感じた。(西濃地区 小学校)</p>
<p>つなぐをキーワードにしながら連携をはかってきましたが、まだできることがあることがわかりました。実践を参考にさせていただきます。ありがとうございました。(東濃地区 小学校)</p>
<p>地域全体で若手教員やミドルリーダーの育成の必要性を共有し、ニーズを捉えて主体的に学べる機会を提供したり、小中を通じて願う児童生徒の姿を通じて教育内容や活動方法を見出したりして、当事者の願いを実現させるための仕組みや動きを構築するために、目指す姿に基づいて関係者のコーディネートを進めている点が大変素晴らしいと思いました。(東濃地区 中学校)</p>
<p>岐阜市では、市の施策の一つとして小規模校つながるプロジェクトが始まり、本校も参加しています。その中で、若手教員の学びの場づくりが急務であると実感しています。郡上市の、授業力向上の取組がとても参考になりました。ハード面での環境が今年整備されましたので、ソフト面の充実を図るためマイサポーター制度や他校の要請訪問などの実践を参考に先生どうしをつなぐマネジメントに取り組んでいきたいです。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>ふるさと教育とキャリア教育を合わせた郡上学はとても興味深く感じました。8割近くの学校が短学級や少人数学級ということで、多治見市勤務の私にとって想像できない別の苦労がありそうですね。(東濃地区 小学校)</p>
<p>ミドルリーダー育成のために、サポート体制を整えている教頭会の活動を知り、私たちの市でもできることを見つけたいと感じました。研修内容を共有し、同様の内容を各学校で取り組むなど挑戦してみたいと思います。(東濃地区 中学校)</p>
<p>まず、先生のマイサポーター制度については、若手の育成や悩みへの対応ということで、大切だと思いました。新しく作ることが難しくても、今ある学年会などを生かして、だれがだれをサポートするか明確にすることで取り入れてみたいと思います。(飛騨地区 小学校)</p>
<p>その活動を行う事の意味を地域、職員、児童が共通理解して進める為に繋ぎを行った教頭の役割は大変重要である。同じ活動に取り組んでもやり方次第で児童の想いが全く変わってくる。想いを育てることが大切なので、是非参考にしたい。(美濃地区 小学校)</p>
<p>地域と連携を図って、学校教育が行われていること、すばらしいと感じました。コロナで関係性が希薄となり、地域との繋がりが切れてしまったと感じる昨今ですが、地域で子供を育てる願いを共有しながら、関係性を再構築していきたいと感じました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>他校とのつながりや地域とのつながりを大切にしながら、教員の資質を高めたり、子どもたちの学習の場をよりよくしているところがよいと思いました。地域の学校同士で連携し、互いに授業を見合う体制をつくったり、地域についての学習を子どもたちの願いを大切にしながら進めたりする様子が、具体的でよく分かりまし</p>

<p>た。自分たちも今後、こういったつながりを効果的に作りながら、よりよい教育環境にしていきたいと思いました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>学校規模に関係なく、組織を活性化させるためには、教頭の発想力が必要であり、その意味でも、他校や他都市の事例を学ぶことができるともよかった。(飛騨地区 小学校)</p>
<p>「つなぐ」ということが教頭の役割の大きな部分を占めることを再確認した。校内での職員をつなぐこと、地域の様々な人や組織をつなぐことには、それらに対する理解を十分にしていることが大切であるということを感じた。寄り添い、それらに良い反応を生み出すことができるよう、今後も努力していきたい。(西濃地区 中学校)</p>
<p>小規模校、単学級が増えている実情から、見て学ぶ機会は大変少なく若手教員には厳しい状況であり、自分の学年の授業を参観できることは大変学びになると思います。ただ、百聞は一見に如かずとはいえ学校を開ける体制づくりは大変だったと思います。また、「需要や困り感に応じた研修は大変実のあるものだと思います。そこを校内だけでなく連携で補う体制が作られたことは大変有意義だと思いました。(飛騨地区 小学校)</p>
<p>学校運営協議会と生徒とのつながり、地域とのつながりを今後考えていきたい。(美濃地区 中学校)</p>
<p>「つなぐ」を合言葉にした実践をうかがい、「つながり」ということの大切さを改めて実感しました。学校ごと、教師同士、校区、地域。本校は単学級・小規模です。そのため、同じ学年の先生からの学びはありません。他学年の先生から学ぶことはできても、人数が少ないため、限度があります。本市のシステムとして、どの学校も秋には「公表会や研究発表会」を実施します。その時には同じ学年の授業を参観できるのですが、市内の全研などの授業を参観できるシステムになっていると、秋まで待つのではなく、年に何回か学ぶ機会が設けられ、授業力向上につながるなど感じました。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>地域との協働を生み出すマネジメント。つなぐが、合言葉。教頭先生が、各学校だけで行なっているのではなく、チーム郡上としての動きも素晴らしいとおもいました。管理職は、孤独だと良く聞きますが、郡上はけっしてそうではなく、情報を共有出来る仲間がいることが大切と思いました。先生が元気でなかったら、何も進みません。勉強になりました。ありがとうございました。(飛騨地区 小学校)</p>
<p>小規模の学校が多い中での学校をつなぐことによる若手育成の取り組みの有効性を感じることができました。学校間をつなぐためにも教頭同士の連携のあり方など追究していきたいです。(美濃地区 小学校)</p>
<p>小規模校だからこそ考えたい、横のつながり、縦のつながり、地域とのつながりを学びました(可茂地区 中学校)</p>
<p>先生のマイサポーター制度は、子どものサポーター制度と同じように大切であり、具体的な取り組みとして有効であると感じました。(飛騨地区 小学校)</p>
<p>小中学校で共通した活動に取り組むことで、小中連携が図られていてよいと思った。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>教員の授業力向上は、児童生徒の資質・能力の向上に密接に関わることで有ることから、たくさんの意味ある研究授業への参加は大事だと思います。また、小規模校ならではの、「相談する相手がいない」ということにも、「マイサポーター制度」を用いて、若手職員の不安解消にもなっているので、是非参考にさせていただきたいと思いました。(東濃地区 中学校)</p>
<p>学校だけでなく、地域も交えた人材育成は非常に魅力的でした。(飛騨地区 中学校)</p>
<p>本校も小規模校であるため、若手とミドルリーダーの育成をする参考になりました。(東濃地区 小学校)</p>
<p>郡上市の仲間が頑張ってくれてくれたことにまずは感謝。マイサポーター等の温かい取り組みを継続的に工夫して実践していきたい。(美濃地区 中学校)</p>

<p>他校の研究会へ参加することで、学びたい教科・学年を選べることは研修を広げることになりますね。(飛騨地区 中学校)</p>
<p>海津市でも SWOT 分析を行い、そのことを元に研究を進めているので、参考になりました。特に若手教員やその他の教諭をつなぐ「マイサポーター制度」に興味をもちました。「つなぐ」という教頭としての役割が大切だと改めて感じました。教頭としての役割を、今後に生かしていきたいと思いました。ありがとうございました。(西濃地区 小学校)</p>
<p>校内のみならず、市内で人的リソースを有効に活用できる仕組みを整え、教頭の連絡・調整によって効果的に活用していらっしゃることで、経験年数の短い先生は、被サポーターとして、モデルとなる指導方法の獲得等、学び多い時間を確保することができ、素敵な実践だと感じました。また、研修や授業を担当される先生も、リーダーとしての責任感や自己有用感の向上等、働きがいにつながる大切な時間を確保することに繋がり、双方にとってメリットがあると感じました。市内での取組となると、本巣市の場合は、教育センターが中心となって、マネジメントを図っていることから、私としてはおんぶにだっここの状態ですが、受け身だけではなく、育成を図る主体者としてこちらから働きかけることも大切にしていきたいと感じました。(岐阜地区 中学校)</p>
<p>ミドルリーダーの育成は、これからの要になるころだと思います。他校の要請訪問時に参加できる状況づくりができるようにしたいと感じました。(可茂地区 小学校)</p>
<p>ミドルリーダーの育成は、これからの要になるころだと思います。他校の要請訪問時に参加できる状況づくりができるようにしたいと感じました。(可茂地区 小学校)</p>
<p>各学校の強みや弱みについて SWOT 分析するなど、感覚ではなく根拠を明確にして研究を進めていくことは大切だと感じ、だからこそ若手の先生にとって学びを感じられる実践ができるのだと感じました。(西濃地区 中学校)</p>
<p>「先生のマイサポーター制度」は自校内ですぐに実践できる取組であり、ねらいや価値を十分共有したうえで、負担にならないように配慮し、ぜひ本校でも取り入れていきたいと思いました。(飛騨地区 中学校)</p>
<p>子ども達一人ひとり、個に応じた指導を教師側が実態に基づいて話し合い、十分に共通理解した上で子ども達にかかわっていくことの重要性を再確認できた。(西濃地区 中学校)</p>
<p>私も人材育成が大きな課題だと思っています。主体的に学ぶ職員にするための手立てを考えていきたいと思っています。(可茂地区 中学校)</p>
<p>合言葉「つなぐ」は教頭の役割としてとても大切だと思います。自分自身も「つなぐ」をキーワードにしていこうと思います。(東濃地区 小学校)</p>
<p>若手に対し、その先生に合った課題についての研修への参加を促すことは大切です。行かせたいのはやまやまですが、なかなか人員が足りないことで、すぐに促すことができないのが現状です。マイサポーター制度もとても面白いと思いました。職員同士をつなぎ、やる気や意欲、さらなる学びが広がるのだと思いました。部分的にでも取り入れてみたいと感じました。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>私も教頭の一番の役割として「つなぐ」ということを意識している。ただ場を設定したり連絡したりするだけがつなぐことではないので、この発表を聞いて、具体的な方法や場の設定がわかってよかった。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>市内で他校の全校研究会等に参加して学び合う場を設定しているところがすばらしいと思いました。(岐阜地区 小学校)</p>
<p>学校や地域の実態を踏まえた「つなぐ」は、これからのコミュニティを考えたときたいへん重要なテーマだと感じました。そこに中心となる教頭の責務は大きいですが、軌道に乗れば組織で動くこともできる内容だと感じました。(岐阜地区 中学校)</p>